

発行元
東京新聞
南千住専売所
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

すまいるたうん

第67号
平成20年
4月15日



絶対、積極。
株日興エポナイト製造所
会長 遠藤勝造さん 101歳

「積極か消極かで一生決まる」

株日興エポナイト製造所の会長 遠藤

勝造さんは明治40年（1907）3月14日生まれの101歳です。

勝造さんは、山形県に生まれ、5歳の時に開拓民として家族と共に北海道に渡り、大正13年（18歳）に上京しました。エポナイト工場に就職後、軍需工場の工場長を経て昭和27年（45歳）に、現在国内唯一のエポナイト素材製造メーカーである株日興エポナイト製造所を立ち上げました。

会社の理念は、

「良い物を作り、相手に喜びを与えたい」

エポナイトは、天然ゴムに硫黄を加え加熱して作られています。プラスチックなど化学合成の進歩による新材料の登場で一時、衰退の時期もありましたが、環境に優しいエコ商品として近年、また注目を浴びています。黒檀（こくたんエボニー）に似ていることからエポナイトと名付けられ、他の樹脂や木材、金属のどれとも違った質感・使用感があります。大正時代は、電話の受話器の素材、ソケットの絶縁部

分、下敷きなど、日本人の生活のいたるところで活躍していました。ボウリングの玉から鉄道模型・バッテリーケースなど多岐にわたり使用されています。また、楽器、万年筆喫煙具などの分野でも、愛好家にはたまらない素材として注目されています。

「継続は力なり」

忙中閑ありと、勝造さんが53歳から始めた趣味と心身鍛錬は多岐にわたります。謡曲2年・吟道43年・心身統一道15年・気合道8年・合気道6年・調和道10年・足心道8年・書道は76歳から始めました。詩吟は荒川区の吟剣詩舞道連盟の理事長も長年務められました。心身統一道（天風会）は、中村天風から直々に人生哲学を学び積極的な精神を養成し、実践してきました。

また、朝晩のストレッチは38年間欠かさず行い、奥様のたかさんと毎朝5時半から2時間体操し、歩くことを日課にしています。勝造さん23歳、たかさん20歳で結婚して76年。2年前に、たかさんは96歳で亡くなりましたが、たかさんも51歳で小唄を、都々逸を65歳で習い始めました。

★三惚れ主義

- 一、土地に惚れ
- 二、仕事に惚れ
- 三、女房に惚れ

「お父さんはお母さんを床の間に飾って



おくようにとでも大切にしてみました」とお嫁さんの愛子さんが尊敬の念を込めて、穏やかな笑顔で話されていました。「とつても幸せ。」

「一緒に頑張って本当に良かった」
「荒川の人」の取材でたかさんがおっしゃっていました。勝造さんは、子供7人孫15人ひ孫18人、76年の結婚生活は遠藤家を60人に増やしました。谷中のご自宅に伺い、お話をしながらサラサラと書いていただいた書は達筆で宝物になります。

「101歳まで生きた人の言葉を大切に」
孫の智久さんが仰るとおり、勝造さんのことばは、一つ一つに重みがあります。「人は自己のために活けると同時に亦常またに人の世のために活けることを忘るべからず」

数々のピンチをチャンスに変えて積極的に地道に生きてこられたお顔は艶があり穏やか。
心がマイナスだと身体もマイナスになります。毎日行修、前向きに積極的に生きる遠藤勝造さん、すばらしい方でした。

株日興エポナイト製造所
荒川区荒川1-38-6
都営荒川線「荒川一中前」駅 徒歩1分
・TEL3891-5258
FAX3891-5259
・代表取締役 遠藤昌吾
・販売担当責任者 遠藤智久
・昭和27年設立